

令和 2 年

# 第 1 回総合教育会議会議録

(開会 令和 2 年 7 月 20 日)

(閉会 令和 2 年 7 月 20 日)

岐阜県可児市教育委員会

令和2年7月20日午後3時45分開会

**出席者**

富田成輝君（市長）

生駒隆昌君（教育委員）

丹羽千明君（教育委員）

瀨瀬新吾君（事務局長）

今井竜生君（学校教育課長）

籠橋義朗君（教育長）

伊藤小百合君（教育委員）

小栗照代君（教育委員）

石原雅行君（教育総務課長）

千葉智治君（教育研究所主任指導主事）

**教育委員会事務局職員**

木村彰伯君（教育総務課総務係長）

中水麻以君（教育総務課総務係）

圓藤 亨君（教育総務課総務係）

## 開会宣言

- 市長（富田成輝君） 令和2年度第1回目の総合教育会議の開会を宣言。

## あいさつ

- 市長（富田成輝君） 市内でも昨日までに15例の新型コロナウイルス感染が確認された。マスク、消毒など一人一人の注意以外防ぎようがないし、誰が感染しても不思議ではない段階に入ったと思う。教育委員会の考え方を聴き、議論をさせていただきたい。

## 議題

- 学校教育課長（今井竜生君） 現在の状況については、国の衛生管理マニュアル、県の学校再開ガイドラインに沿った対応を小・中学校で進めており、登校の際の健康チェックカードによる確認、授業形態の工夫、マスクの着用、手指の消毒、エアコンを利用しつつ換気を行うなどの対応をしている。給食では配膳方法の工夫、食べるときのルールづくりなどを指導し安全に注意し進めており、また下校後には、子供たちがよく触る場所の消毒を教職員が実施している。

7月4日からは中学校の部活動が再開し、対外試合、実戦形式の練習も始まっており、中学校3年生においては部活動の締めくくりの活動を計画して進めている。

長期休業の影響で、心の面で心配な子供たちがかなりいるということもあり、学校では心のアンケートを実施し、その内容に応じて相談の場を設けたり、スクールカウンセラーを活用して相談に当たったりしている。

また、いじめ等につながらないよう風評被害を防止するような文書を作り、保護者への配付を行っている。

教育委員会においてはアルコール、石けんなどの必要な物資の購入をしており、今後の対応として水道蛇口の取替え、滅菌器の購入について予算要求している。

GIGAスクール構想関係では、1人1台のタブレット端末整備、学校のWi-Fi環境の整備を進めている。併せて、ICTの活用に関しデジタル教科書、大型提示装置の早期整備の必要性を感じており、それらを予算要求しているところである。

感染症予防もだが、熱中症も心配されているため特別教室の空調整備を進めていきたいと考えている。

人的措置としては、スクールサポーター、通訳サポーターの増員をお願いし、今配置しているところである。さらに、消毒等の感染症対策に従事するスクールサポートスタッフを配置したいと考え準備している。また、先ほど申し上げたように心の面で不安を抱える子供に対応するためにスクールカウンセラーの時間数を増やし、相談に対応することも教育委員会として取り組んでいる。

例年だと夏休みに入る時期だが、今年度は授業を行うため、登下校の熱中症予防として日傘の利用、荷物を減らすこと等と呼びかけている。

小・中学校は、このような感染症予防と熱中症対策に関し指導と管理を進めており、運動会、体育大会、修学旅行、宿泊研修などの学校の行事に係る感染予防対策を考慮し

た対応、授業時間数の確保などについても取り組んでいる。

また、再び休校になることも想定し、家庭のICT環境の確認、学校と家庭の連絡方法、タブレット端末整備後の利用方法について検討しているところである。

○ **市長（富田成輝君）** 教育委員の皆さん、質問、意見をいただきたい。

○ **教育委員（生駒隆昌君）** 約3か月間の学校臨時休業が終わり、子供たちは今元気に登校している。

先日、各教育委員が自分の担当校へ訪問し話を伺ってきた。私は旭小学校、広見小学校、中部中学校を訪問した。

子供たちはマスクをしてたが、一生懸命に先生の話聞くなど今までと変わらない笑顔の学校という感じであり、検温や手の消毒などを子供たちが心がけてやっていた。

旭小学校はクロバネキノコバエが大量発生し、換気をすればハエが入ってくると、両方の対策に苦慮しており扇風機をつけたり、目の細かい網戸にしたりと苦労していた。

アルコール、石鹼などは早い段階で用意していただけたと聞いている。これからの季節は熱中症も心配になるが気を抜くことなく、教育委員、教育委員会として支援できることをしていくことが重要になると考える。

○ **教育委員（伊藤小百合君）** 私は帷子小学校、春里小学校、南帷子小学校、西可児中学校と広陵中学校を訪問した。どの学校も本当に落ち着いており、マスクをして話し合いをする際も一定の距離をとって行うなどして授業を受けていた。

中学校1校で給食の配膳の様子も見たが、今までにはなく先生がエプロン、三角巾をして指導ができるような態勢ができており、生徒の手際もよく、食事中も静かにしていた。学校や家庭での指導もあると思うが、きちんと守ってできている子供が多いように感じた。

小学校では、5・6年生に大型提示装置が導入され大変助かっているという意見もあった。他市から異動してきた先生は、可児市は子供に対してもサポートが手厚く、子供のことを考えて教育をされていると感謝されていた。

○ **教育委員（丹羽千明君）** 私は今渡南小学校、土田小学校、今渡北小学校、蘇南中学校を訪問した。どの学校も落ち着いており、コロナ対策も各校で工夫されていた。

校長先生との話では、子供たちの楽しみな行事がほとんど中止になってしまうこともあり、本来学校は楽しいものだと感じてもらえるように今後取り組んでいきたいとのことだった。

また、可児市でクラスターが発生した際、いろいろなうわさ話があったが、いち早く市長が風評被害、いじめはやめようといったメッセージを出されたのを見て、その通りだと思った。誰にでも感染の可能性はあることから、風評被害等につながらないように優しい可児市であってほしいと思った。

○ **教育委員（小栗照代君）** 私は東明小学校、桜ヶ丘小学校、兼山小学校、東可児中学校を訪問した。どの学校も先生方が積極的に消毒するなど子供に感染しないよう予防に力を入れていると感じた。感染予防対策や感染した際の対応など先生方のフォローも大事だと思う。

今後、また長期休業となった時の対応を考えたとき、家庭のインターネット環境の問題もあるが、朝の会をテレビ会議システムで行うなど家にいても先生と子供たちがコミ

コミュニケーションを取れる場があるといいと思う。

- **市長（富田成輝君）** 生駒委員の話にもあったがコバエが大量発生しており、子供の目に入ると心配。
- **教育長（笹橋義朗君）** 感染症対策として換気もしないといけないため、特に大量に発生している地区の学校には目開き400μmの目の細かい網戸を設置した。
- **教育委員（生駒隆昌君）** 学校においても扇風機やサーキュレーターで入らないように対応するなど苦勞していた。
- **市長（富田成輝君）** 今回の感染症に関しては事実ではない風評被害というか、様々なうわさやデマが広がっており、生きた材料として小中学生に教育するいい機会でもある。要は自分の目で確認したこと、確証のあること以外は決して言わないとぜひ教えてほしい。
- **教育長（笹橋義朗君）** それについては、校長会でも大事なこととして何度も伝えている。
- **市長（富田成輝君）** 今は感染が少し落ち着いているが、間違いなく今後感染は拡大していく。専門家に意見を聞くと、インフルエンザの季節になればさらに加速する可能性がある。心配なのは子供が熱を出したとき、どの手順で検査をするか。子供が熱を出した時にどういう手順で親は対応すればよいか、わかりやすく教えて欲しいとお願いしている。発熱など感染症の疑いがある等により学校を休んだとしても欠席扱いにはならないため安心してまずは休んでもらいたい。その後の病院、保健所、学校とのやりとりなどそういった手順について専門家に確認をしているところである。
- **教育委員（丹羽千明君）** それは大事である。
- **市長（富田成輝君）** また決まれば各家庭にお知らせしたい。

おそらくこれから学校行事が中止になっていく。そういった中でこれまでとは違う子供たちにとって新たな楽しい時間を今までとは違うやり方でどう作るかを考えないといけない。専門家によると、なんでもかんでも危険、感染するというわけではなくやはり感染リスクの高い行動とそうでないものがあり、その点がもっと周知され、いかにそのリスクを避けて生活するかということが重要になると思われる。

また、タブレット端末整備や空調に関しては多少時間がかかる。
- **教育委員（丹羽千明君）** 二、三年前の総合教育会議で、いろいろ要望したが、かなり実現していただいている。普通教室のエアコンや低学年児童用トイレの洋式化は100%実現した。特別教室のエアコン、1人1台タブレット端末の整備も実現されようとしており、このタブレット端末活用のためにも、特に大型提示装置を推進していただきたいと思う。
- **市長（富田成輝君）** 確かにあったほうがいい物はたくさんある。優先順位をつけ、その分何かをやめるなどしないといけない。補助金制度の活用はもちろんだが、導入時は補助がついても維持管理、更新は市費で行わなければならない。そのため、小中学校の大規模改修などにお金がある中で、何をどういう順番でどのように整備していくかが知恵の使い道である。

必要なことはわかっているがタイミングを見て。学校関係は大事なのでお金はかけないといけないが、その分何かをやめないといけない。

- **教育委員（生駒隆昌君）** 文部科学省から、中学校に携帯電話の持ち込みを可とする方針が出た。防災・防犯面を考慮してのことだと思うがどうか。
- **市長（富田成輝君）** 原則賛成。駄目と言うより、危険性は危険性でしっかりと教えた上で持たせたほうが良いと思う。
- **教育長（籠橋義朗君）** 使い方や危険性を教えていかないといけない。
- **市長（富田成輝君）** どういうふうにその危険性を教えるか。いいこと悪いことを十分承知の上でやっている。
- **教育委員（生駒隆昌君）** 使い方を正しく指導したほうが良いと。
- **市長（富田成輝君）** 今後、コロナとの生活が普通になり子供や先生が感染することもあり得る。消毒等の為に数日学校を休業にすることはあっても、以前のように長期間休業するということはないのではないか。学校に行かず自宅だけの勉強は不可能であり、子供の生活が狂ってしまうことのほうが危険だと思う。  
もちろん、できる限り家庭で勉強できる体制はつくり、いざというときはそうすることもあると思うが、今後も頻繁に感染者は発生すると思われるため、その度に長期間の休業はしていただけないと思われる。
- **教育委員（生駒隆昌君）** 今回、3か月の休業期間に社会生活が変わった。学校が休みで保護者の生活体系や金銭的なことも変わった。
- **市長（富田成輝君）** これからは全く新しい、今までの休業とは違う形に多分なると思う。
- **教育委員（丹羽千明君）** 運動会などの学校行事はどう考えるか。
- **市長（富田成輝君）** 運動会は種目によっては危険だと思う。要するに近い距離で飛沫が飛ぶようなものは。熱も症状もない子供が感染していることもあるためマスクは必要だが、マスクをして走るわけにもいかない。
- **教育長（籠橋義朗君）** 今年度は短縮するなど今までとは違ってくると思う。保護者の見学もないかもしれない。
- **市長（富田成輝君）** 私は、保護者はマスクをして静かに見ているだけなら来てもいいと思う。確かにすべてをやめてしまうのは一番安全だが、これからの時代は何をやめて何をよしとするか、そこを見極めなければならない。
- **教育長（籠橋義朗君）** 試行錯誤していかないといけない。
- **市長（富田成輝君）** 冷静にめり張りをつけたが良い。そうしないと全部なしになってしまうと子供たちがかわいそうである。
- **教育長（籠橋義朗君）** 修学旅行も問題になっている。
- **市長（富田成輝君）** 修学旅行も感染予防対策が取れば良いと思う。課題は多いが、何でもなしにしたら子供に対する悪影響の方が大きい。子供たちがいい思い出を作って友達と一緒に楽しい時間を過ごすことは非常に大事なことであるため、専門家の意見を聞きながら検討していくことが大切である。  
そのほかに何かあるか。
- **教育委員（生駒隆昌君）** さきほどもあったが大型提示装置の推進をお願いしたい。また、今年度から新しい教育振興基本計画がスタートしたが、子供たちを守れるような教育現場をつくっていかないといけないと思った。

- 市長（富田成輝君） 子供の教育は非常に大事なことである。施設整備にしても財政の見通しをつけて行う必要があり、今後コロナウイルス感染症の影響がどうでてくるか。人口流出も今後の課題であるため可児市に愛着をもってもらえるよう子供たちを育てていかないといけない。

#### 閉会宣言

- 市長（富田成輝君） 令和2年度第1回の総合教育会議の閉会を宣言。

閉会 午後4時44分